

## 中国白桃市況



中国白桃缶詰の原料は主に2種類(大久保種と北京14号種)あり、主産地は北京周辺と河北省です。一般的に、果肉の柔らかい大久保種は追熟用に使われ、果肉のしっかりした北京14号種は通常の白桃缶詰に使用されます。

白桃の開花受粉期は黄桃より遅いため、4月の大雪の影響はほとんど受けませんでした。それでも寒波の影響により、収穫時期は例年に比べ約1週間遅れました。また、収穫量は平年並みとの情報ですが、生鮮向けの引き合いが強かった事により、原料価格は高騰しました。中国も日本同様に、黄桃は生鮮での需要は少なく、加工用に使われます。一方、白桃の生鮮需要は例年増加している状況により、加工用原料が高騰しています。また、人件費、運送費の上昇も原料価格に影響を与えています。

